



生徒会だより 7月号

愛媛県総合体育大会

6月3日(土)、4日(日)に愛媛県総合体育大会が行われました。三瓶分校からは、剣道部、陸上競技部、バレーボール部、ソフトテニス部、卓球部が出場しました。惜しくも、四国総体に出場することはできませんでしたが、どの部も今まで練習してきた力を発揮することができました。



救急法講習会

6月9日(金)の6限目には、救急法講習会が行われました。消防士の方に、心肺蘇生法やAEDの使用方法について教えていただきました。実践形式で学ぶことができ、もしもの場合に適切に処置ができるように、丁寧に教えていただきました。



部活動紹介～自然科学部～

☆活動内容と魅力

- ・ 学校で飼っている金魚の水槽掃除を月に一回しています。具体的には、水の入れ替え、ガラスについた藻の清掃、フィルターの交換などを行います。
- ・ 少人数で、仲良く 楽しく活動しています。
- ・ 長期休暇中にボランティアをすることもあります。

これからもみんなで協力して頑張ります！



日本と世界のSDGs認識

「SDGs」を至るところで見聞きするようになりました。SDGsは2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標ですが、最近、「SDGs疲れ」という言葉があるそうです。オルタナ総研による「SDGs意識調査」では、「企業のSDGsに関する情報発信に疲れを感じる」と回答した人の割合は全世代で62.4%だったそうです。SDGs疲れの要因としては、「説明のわかりづらさ」や「なんでもSDGsに結びつける取り上げ方」などが挙げられています。もうひとつ、興味深いデータがあります。World Wide Views on Climate and Energy (2015) の中で、「あなたにとって、気候変動対策は、ど

のようなものですか？」という問いに対して、「多くの場合、生活の質を高めるものである」と答えた割合は世界全体で66%なのに対し、日本では、17%でした。「多くの場合、生活の質を脅かすものである」と答えた人の割合は世界全体で27%なのに対して、日本では、60%の人がそう答えています。

環境に配慮することは、自分たちの生活に対して、制限を「強いられる」ことであるという認識があるのかもしれませんが、2015年に採択されてから目標である2030年まで折り返し地点。持続可能な社会のために「必要なこと」という働きかけだけでなく、生活と結びついた「楽しいこと」であるというデザインが大事になってくるのだと思います。

公営塾 C-LAB

チェックしてね！

毎週 月・水・木 17時～21時まで
MAIL : c.lab.mikame@gmail.com
担当：岡島、齊藤

HP



Instagram



Twitter

